

# 景気見通し調査(平成27年3月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

- 調査時期** 平成27年3月5日(木)～10日(火)  
**調査方法** F A Xによる送付、回収  
**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 350件を抽出  
(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所  
卸・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)  
**回答数** 181件 (回収率51.7%)

	製造	建設	卸・小売業	サービス・その他	合計
5人以内	13	20	24	16	73(40.3)
6～10人	12	12	10	7	41(22.7)
11人以上	21	17	13	16	67(37.0)
合計	46(25.4)	49(27.1)	47(26.0)	39(10.5)	181

### 文中にでてくる「DI値」とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。

## 【調査結果の概要】

### 回復の足踏み感続く 先行きも横ばいで推移する見通し

- 1) **業界の景況**は、「現在」DI 値が▲42.2と前回調査(H26.12)から1.5ポイント悪化ではあるが、ほぼ横ばいの結果となった。業種別では、「製造業」で9.4ポイント、「サービス・その他」で6.7ポイントの悪化が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は▲38.6と、現在と比べ3.6ポイントの改善となる見通しであるが動きは弱い。業種別では、「製造業」において現在より15.6ポイントの大幅な改善見込みとなった。
- 2) **自社の景況**は、「現在」DI 値が▲25.3と前回調査と比べて1.7ポイント悪化となり、前回調査の先行DI 値では▲33.1の見通しであったが、わずかな悪化にとどまった。業種別に見ると、前回改善幅が大きかった「サービス・その他」で14.0ポイントと大きな悪化が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は▲26.2と、現在と比べ0.9ポイント悪化でほぼ横ばい。業種別では、「サービス・その他」で12.0ポイント、「建設業」で11.0ポイント悪化の見通しとなった。
- 3) **売上(受注高)**について、「現在」のDI 値は▲27.1と前回調査に比べ7.0ポイント悪化する結果となった。業種別では「卸・小売業」で18.0ポイントと大きく好転した一方、それ以外の業種においては10ポイント以上の大きな悪化が見られた。一方、「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は▲27.3と、現在と比べ0.2ポイントの悪化とほぼ横ばいを予想。業種別では、「製造業」で改善の一方、「卸・小売業」は11.5ポイントの悪化見通しとなった。
- 4) **仕入価格**について「現在」DI 値は▲37.8と前回調査に比べ、3.8ポイント改善。業種別に見ると、「卸・小売業」を除いて改善が見られた。「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は▲47.1と、現在と比べ9.3ポイント悪化となり、再び仕入価格高騰が懸念される見通しとなった。業種別に見ると、「サービス・その他」を除く業種において悪化を予想している。
- 5) **販売価格**は、「現在」DI 値9.0と前回調査に比べ7.3ポイント上昇。全ての業種において改善が見られる結果となった。「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は12.8と、現在と比べ3.8ポイントの上昇を予想している。
- 6) **採算(収支)状況**について、「現在」DI 値は▲31.4と前回調査と比べて1.9ポイントの悪化。仕入価格、販売価格は改善しているものの、売上DI 値の悪化に伴い採算状況もわずかに悪化した。業種別に見ると、「サービス・その他」を除く業種で悪化傾向となった。「今後(3ヶ月後)」の先行DI 値は▲38.7と現在と比べて7.3ポイント悪化の見通し。仕入価格の上昇懸念から、採算の悪化を予想している。

#### D I 値前回調査との比較

※ - (マイナス) は悪化、+ (プラス) は改善

	業界 DI		自社 DI		売上 DI		仕入 DI		販売 DI		採算 DI	
	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行
全業種	-1.5	5.6	-1.7	6.9	7.0	3.6	3.8	-13.0	7.3	10.6	-1.9	1.5
製造業	-9.4	12.2	0.9	18.4	-15.2	-11.9	16.2	-11.9	7.2	13.6	-0.5	-4.8
建設業	2.0	-0.6	-2.5	-4.8	-18.1	1.6	2.9	-15.2	10.5	23.1	-6.3	-2.9
卸・小売業	2.7	-3.1	6.3	7.0	18.0	4.5	-5.4	-26.9	10.1	7.3	-5.2	-8.9
サービス・その他	-6.7	12.4	-14.0	3.9	-19.2	13.4	2.5	4.9	2.8	-2.4	2.3	20.4

【業界別動向】

業種		キーワード		業界 (現在)	自社 (現在)	売上動向 (現在)
製造	+	・主力商品がシーズンインのため(繊維製造)	前回 H26.12			
	—	・仕入れ価格の上昇(繊維製造)	今回 H27.3			
建設	+	・年度末・春先の受注がある	前回 H26.12			
	—	・住宅着工数の落ち込み ・受注減少	今回 H27.3			
卸・小売	+	・新生活に向けての需要増(小売)	前回 H26.12			
	—	・原料高と内需の低迷(卸)	今回 H27.3			
サービス・その他	+	・例年1~3月が最需要期のため(サービス)	前回 H26.12			
	—	・同業種との競合激化(サービス)	今回 H27.3			

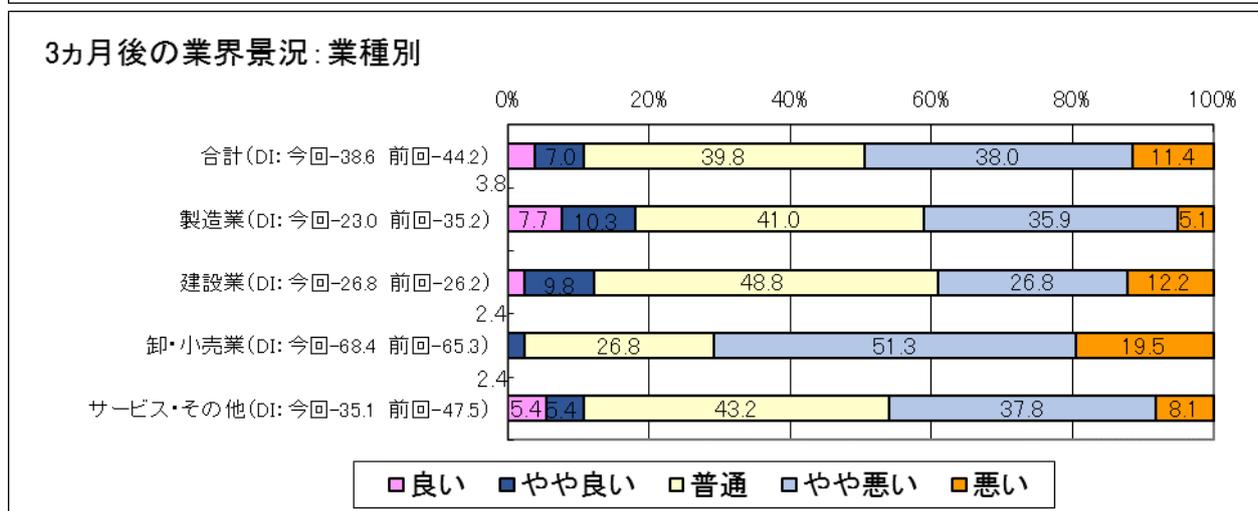
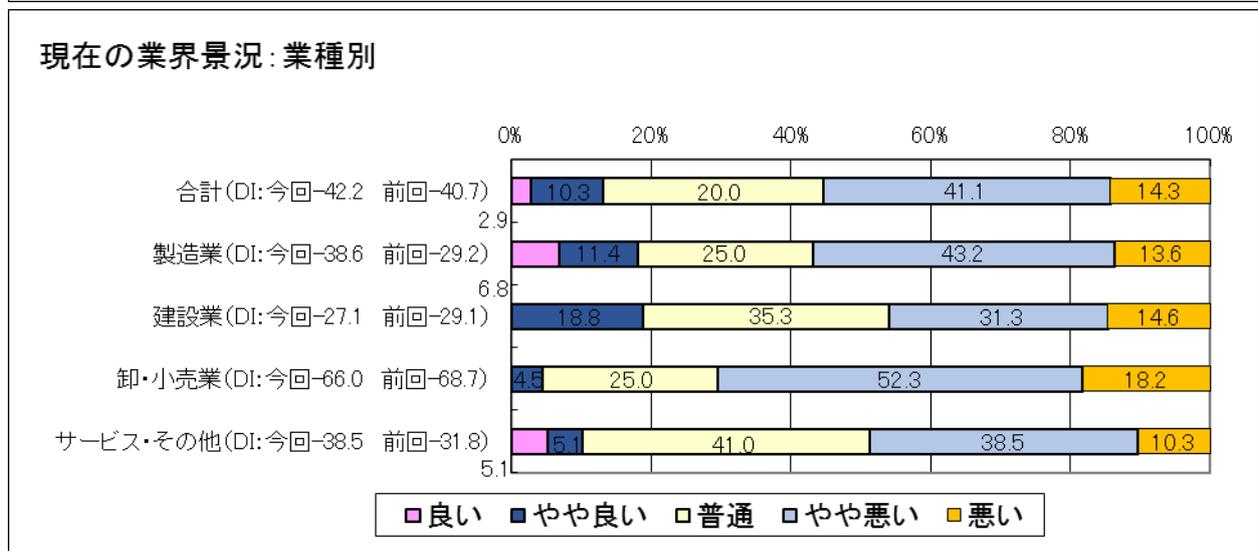
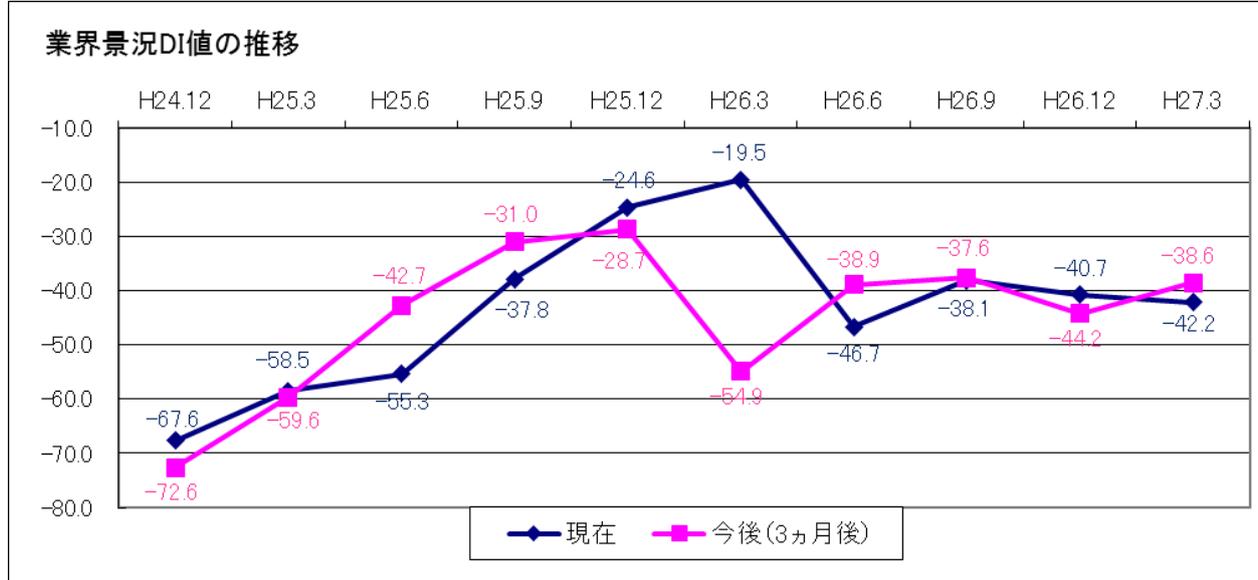
DI値	天気	DI値	天気	DI値	天気
20.1 以上		5.0~▲5.0		▲20.1~▲40.0	
5.1~20.0		▲5.1~▲20.0		▲40.1 以下	

## 【業界の景況】

### 回復の足踏み感続く 先行きも弱い改善の動き

業界の景況は、「現在」DI値が▲42.2と前回調査(H26年12月)から1.5ポイント悪化ではあるが、ほぼ横ばいの結果となった。業種別では、「製造業」で9.4ポイント、「サービス・その他」で6.7ポイントの悪化が見られた。

「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲38.6と、現在と比べ3.6ポイントの改善となる見通しであるが動きは弱い。業種別では、「製造業」において現在より15.6ポイントの大幅な改善見込みとなった。

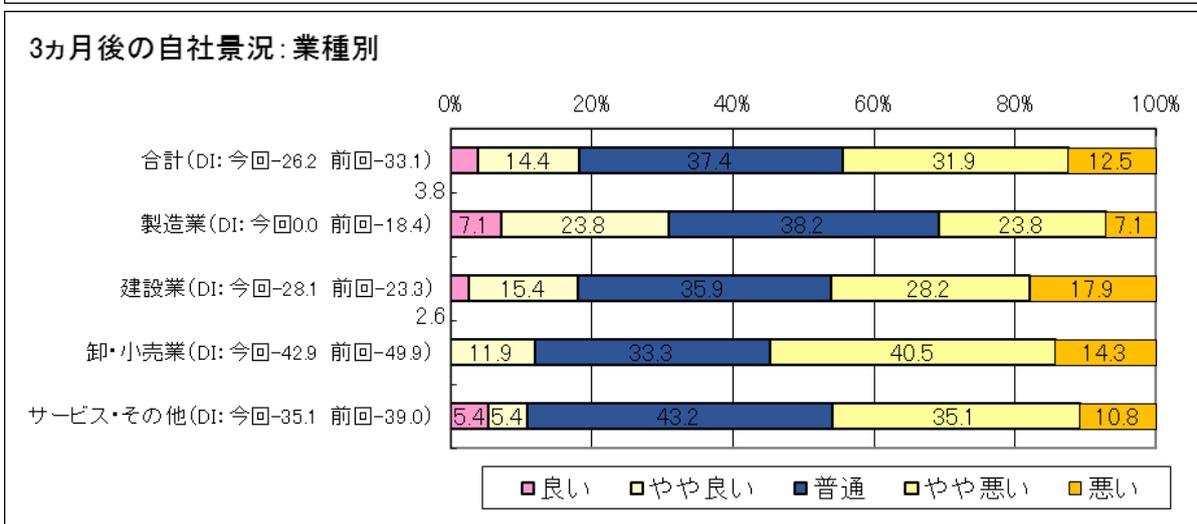
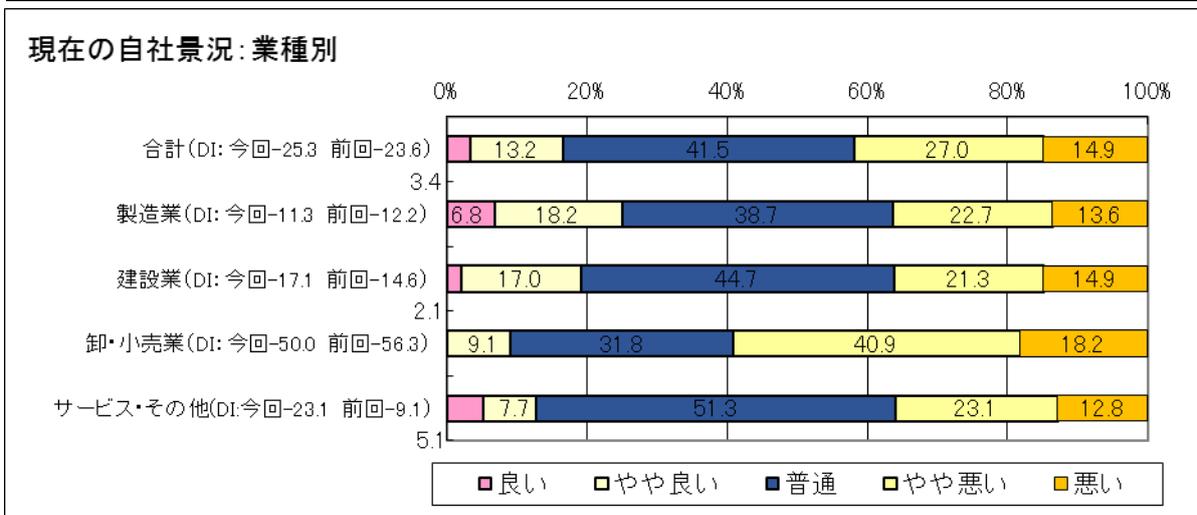
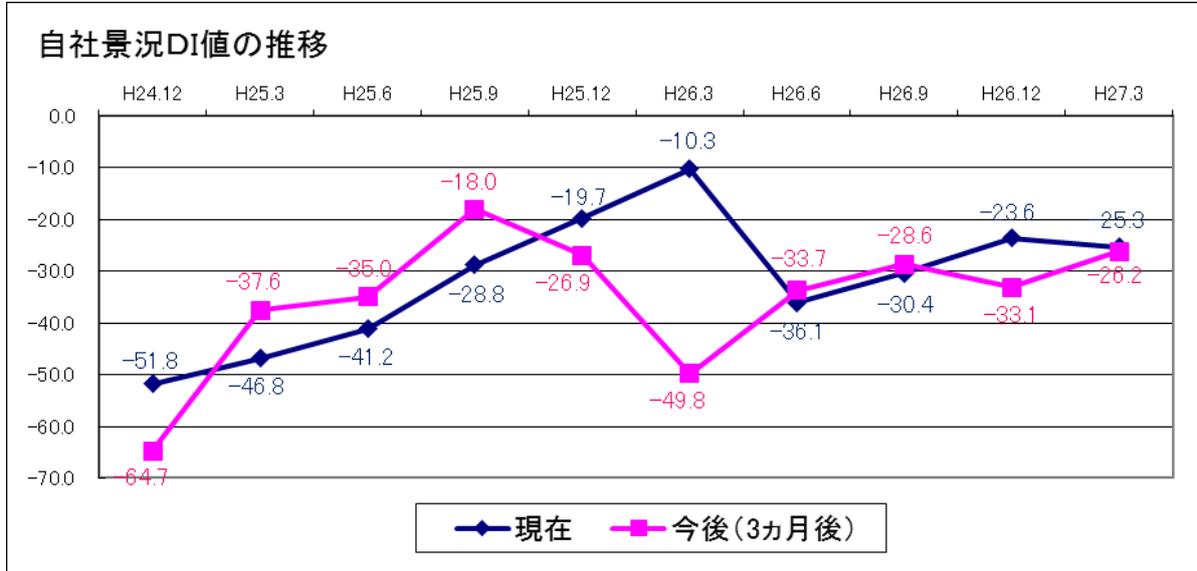


## 【自社の景況】

### 回復基調に一服感 先行きもほぼ横ばい

自社の景況は、「現在」DI値が▲25.3と前回調査と比べて1.7ポイント悪化となり、前回調査の先行DI値では▲33.1の見通しであったが、わずかな悪化にとどまった。業種別に見ると、前回改善幅が大きかった「サービス・その他」で14.0ポイントと大きな悪化が見られた。

「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲26.2と、現在と比べ0.9ポイント悪化でほぼ横ばい。業種別では、「サービス・その他」で12.0ポイント、「建設業」で11.0ポイント悪化の見通しとなった。

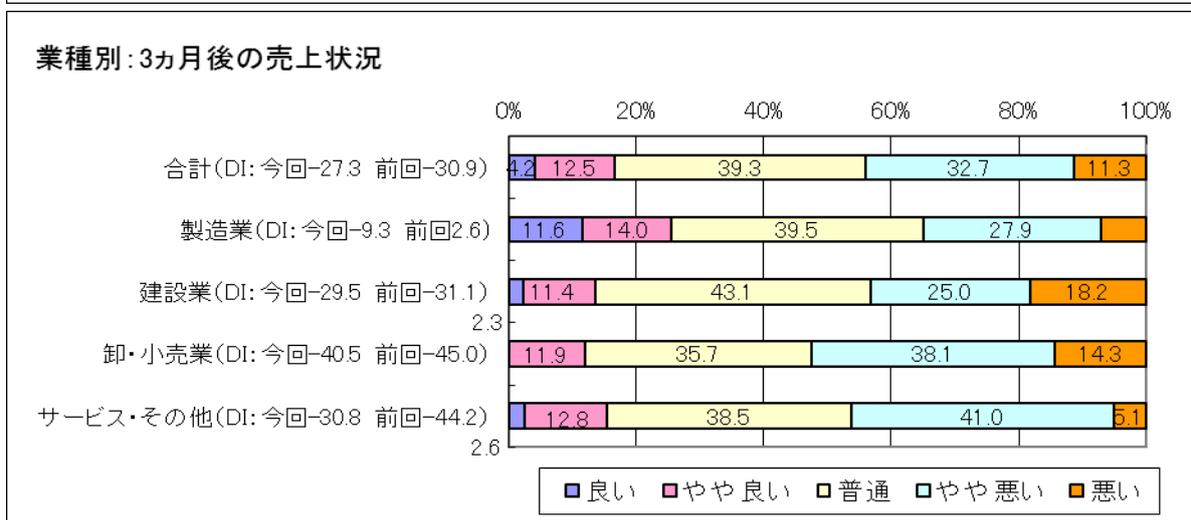
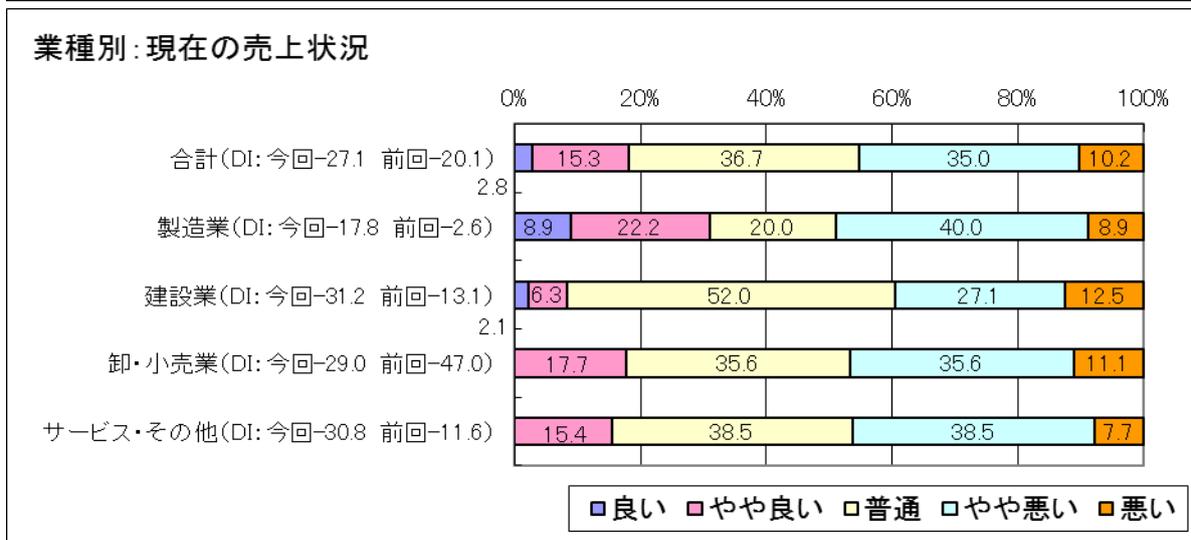
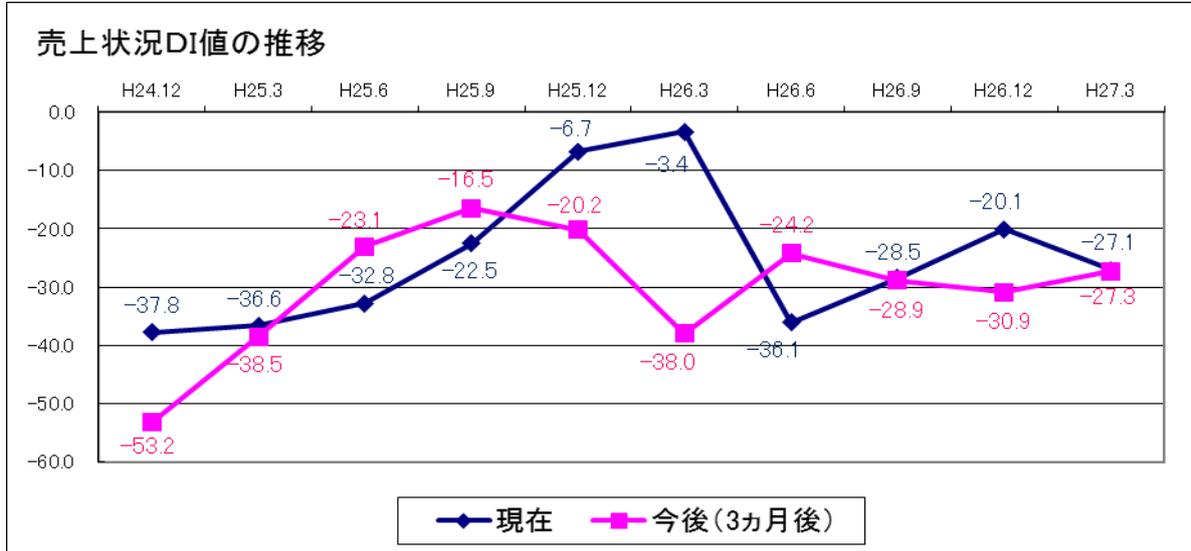


## 【売上(受注高)】

### 卸・小売業で大幅な改善も 全体では悪化傾向に

売上(受注高)について、「現在」のDI値は▲27.1と前回調査に比べ7.0ポイント悪化する結果となった。業種別では「卸・小売業」で18.0ポイントと大きく好転した一方、それ以外の業種においては10ポイント以上の大きな悪化が見られた。

「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲27.3と、現在と比べ0.2ポイントの悪化とほぼ横ばいを予想。業種別では、「製造業」で改善の一方、「卸・小売業」は11.5ポイントの悪化見通しとなった。

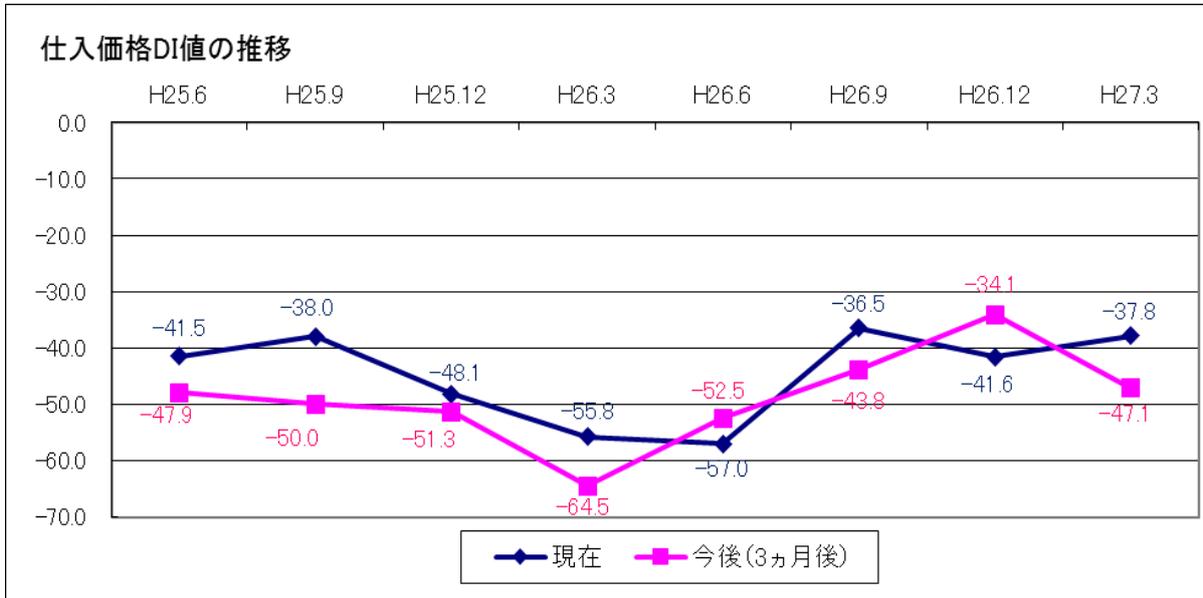


## 【仕入価格】

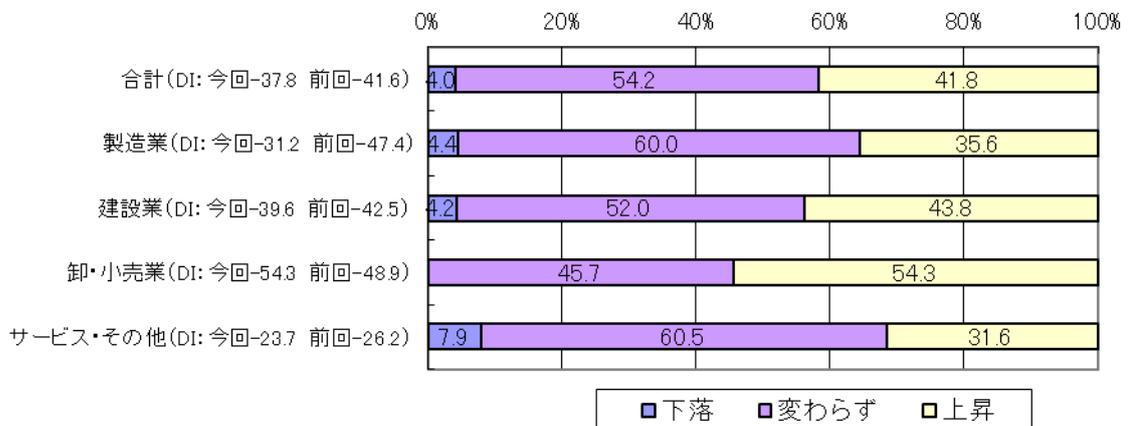
### 仕入価格の高止まり続く 先行きは再び上昇を懸念

仕入価格について「現在」DI値は▲37.8と前回調査に比べ、3.8ポイント改善。業種別に見ると、「卸・小売業」を除いて改善が見られた。

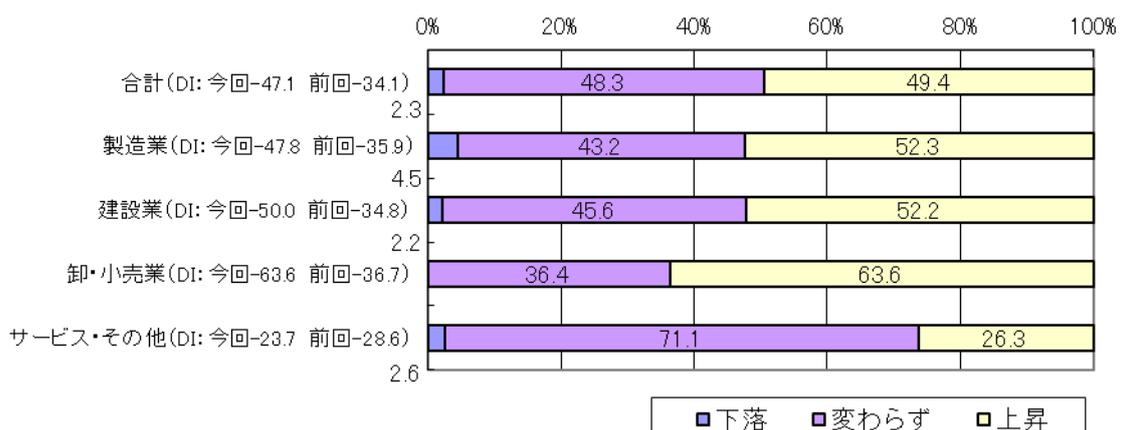
「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は▲47.1と、現在と比べ9.3ポイント悪化となり、再び仕入価格高騰が懸念される見通しとなった。業種別に見ると、「サービス・その他」を除く業種において悪化を予想している。



#### 業種別：現在の仕入価格の状況



#### 業種別：3ヵ月後の仕入状況

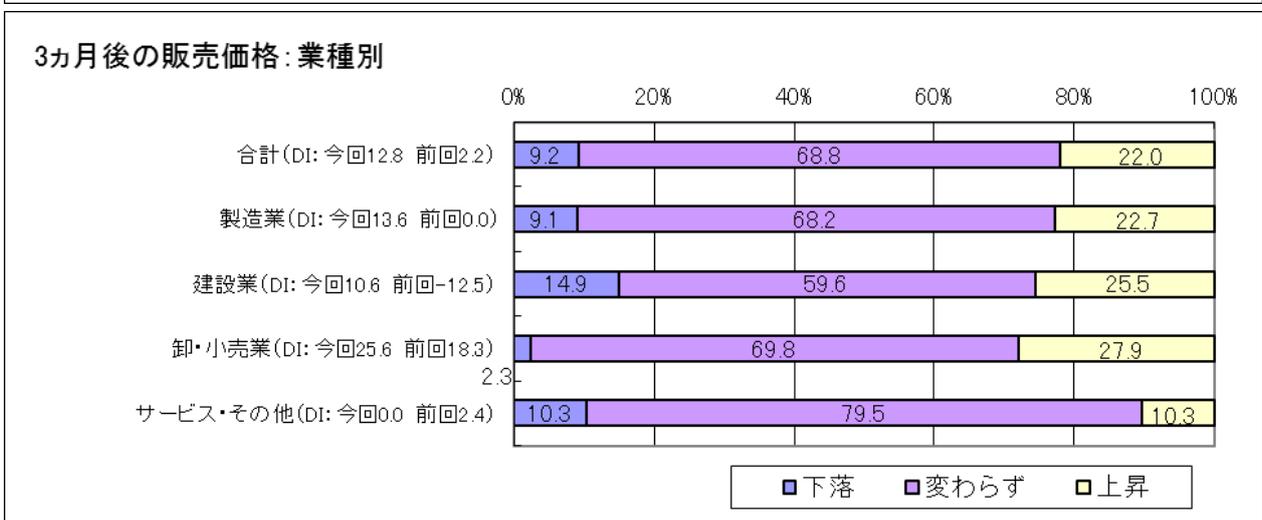
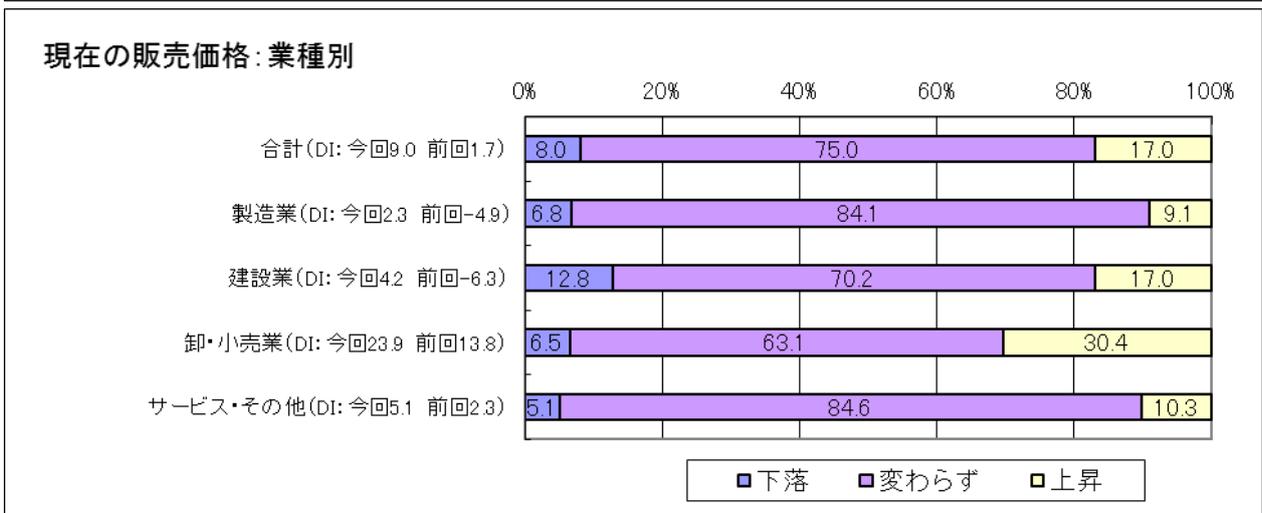
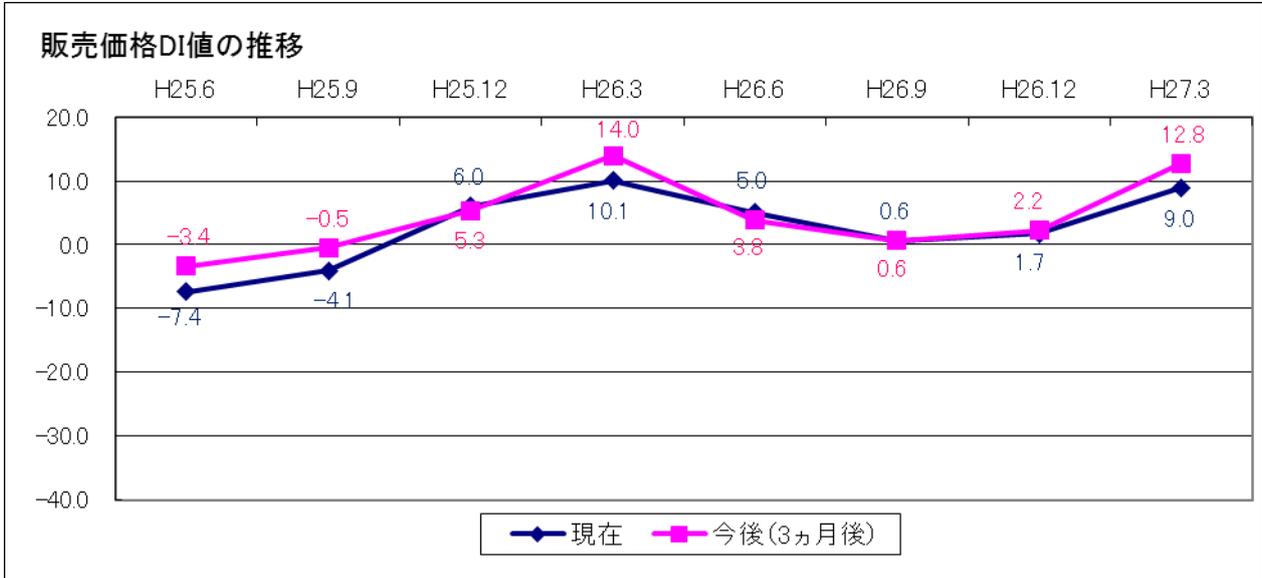


## 【販売価格(単価)】

### 販売価格の上昇傾向続く 引き続きプラス圏で推移

販売価格は、「現在」DI値 9.0と前回調査に比べ 7.3ポイント上昇。全ての業種において改善が見られる結果となった。

「今後(3ヶ月後)」の先行DI値は 12.8と、現在と比べ 3.8ポイントの上昇を予想している。

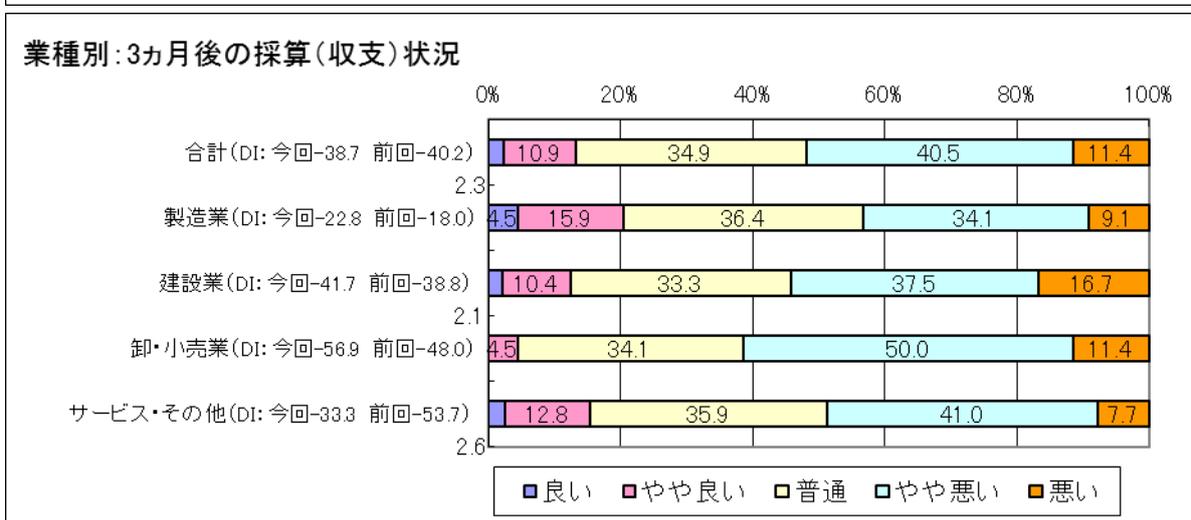
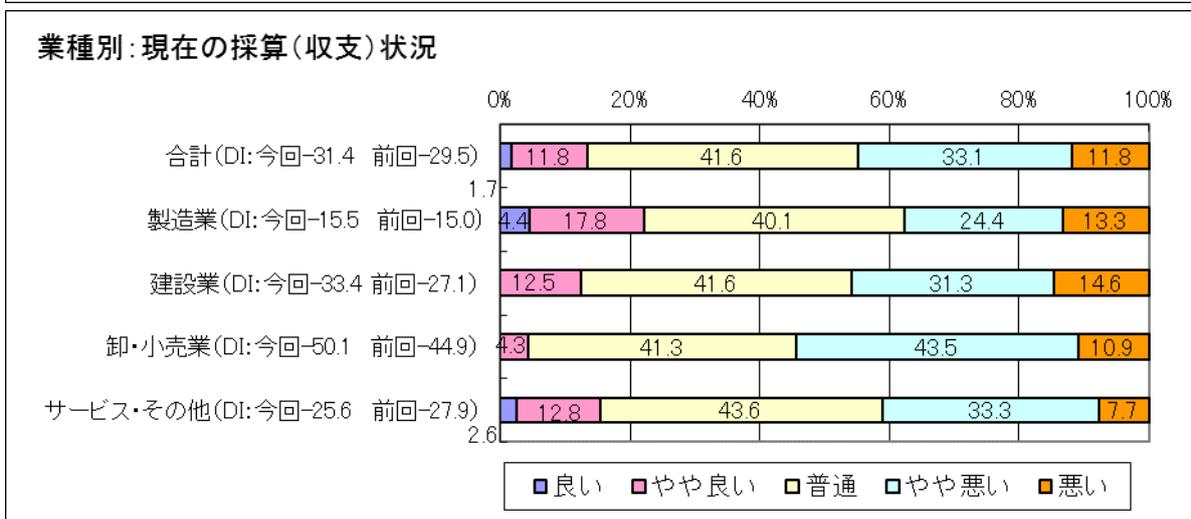
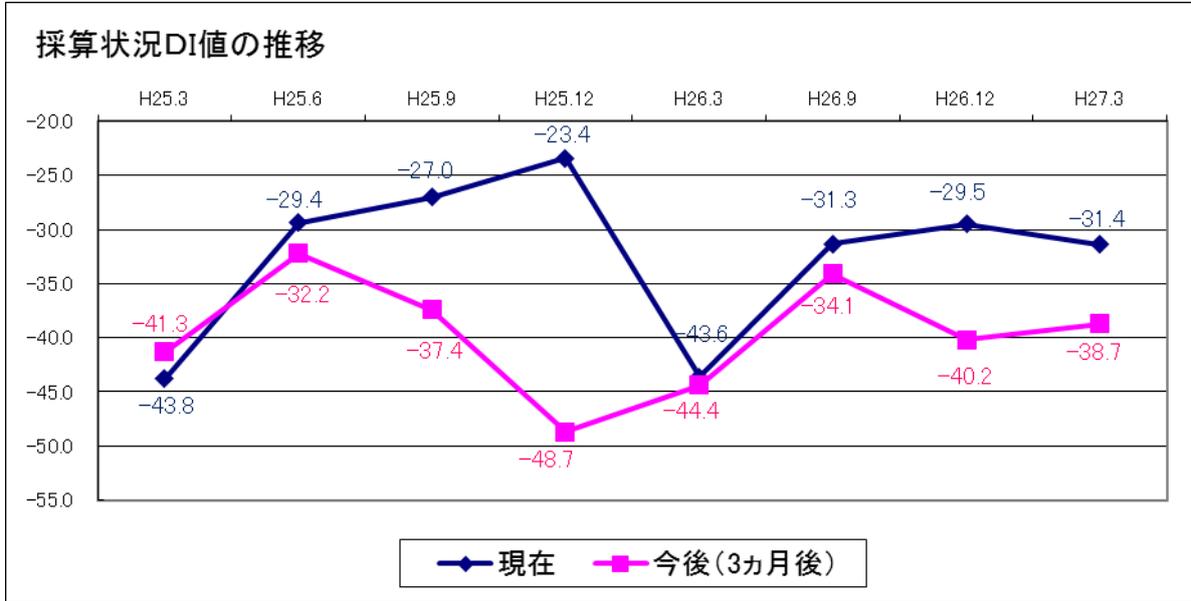


## 【採算(収支)状況】

売上 DI 悪化に伴いわずかに悪化 依然として先行きも慎重

採算(収支)状況について、「現在」DI 値は▲31.4と前回調査と比べて1.9ポイントの悪化。仕入価格、販売価格は改善しているものの、売上 DI 値の悪化に伴い採算状況もわずかに悪化した。業種別に見ると、「サービス・その他」を除く業種で悪化傾向となった。

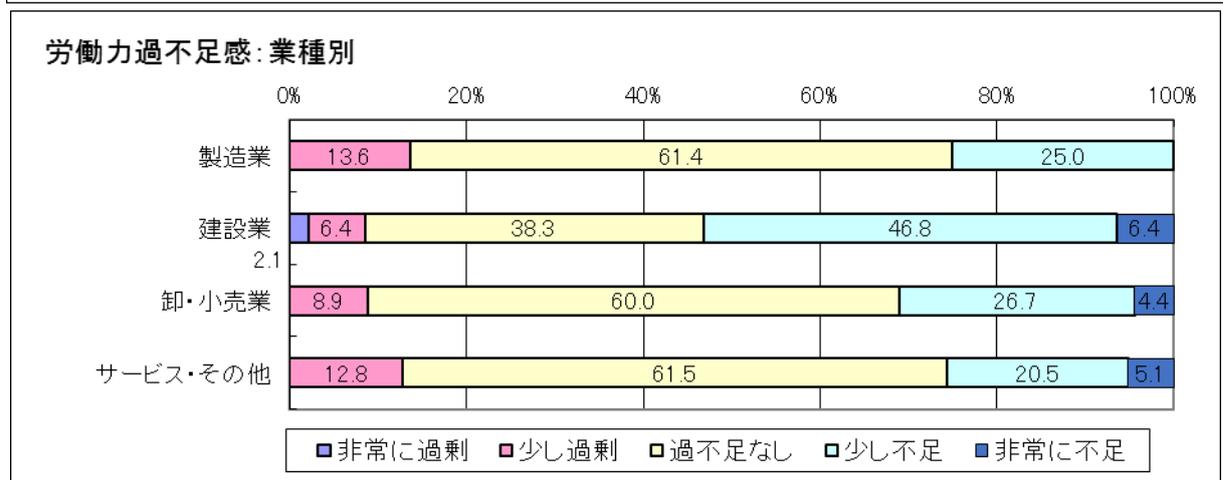
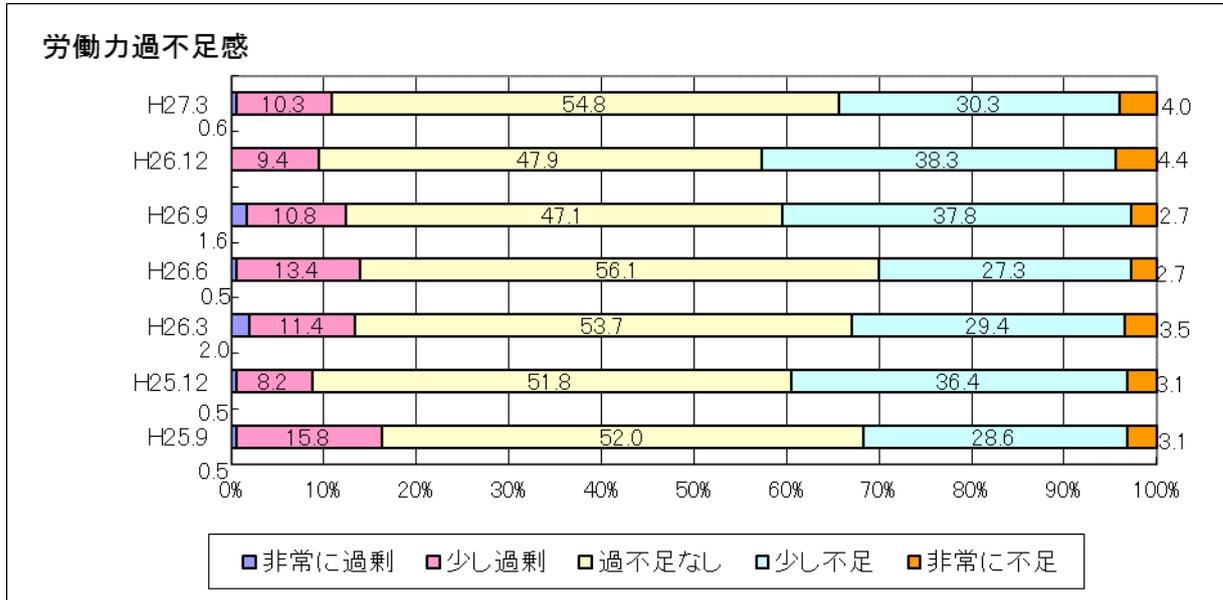
「今後(3ヶ月後)」の先行 DI 値は▲38.7と現在と比べて7.3ポイント悪化の見通し。仕入価格の上昇懸念から、採算の悪化を予想している。



## 【労働力の過不足感】

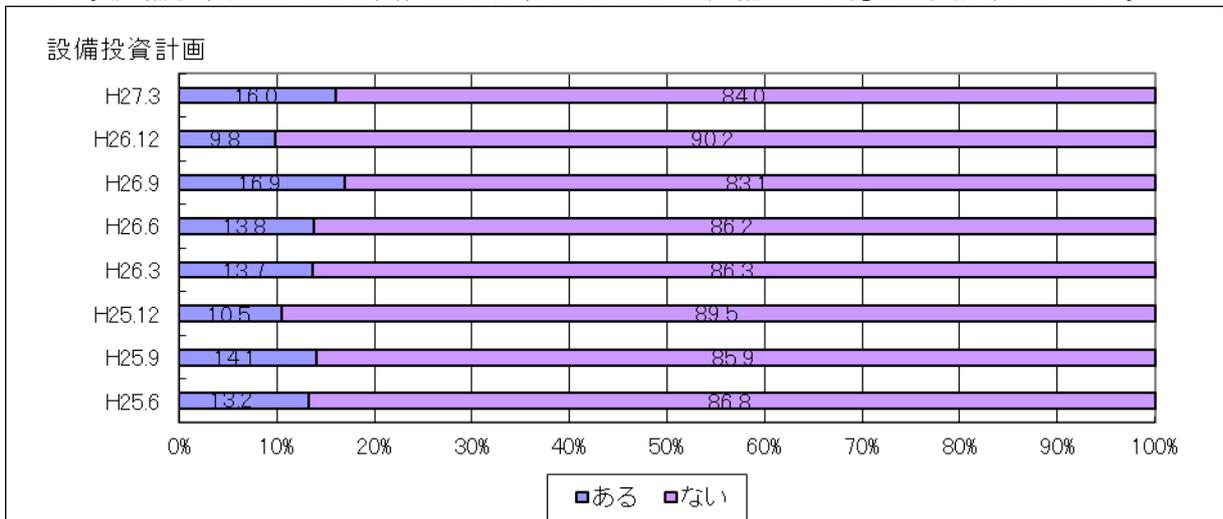
「過剰」(「非常に過剰」+「少し過剰」)と回答する企業は 10.9%と前回調査より 1.5 ポイント増加。一方で、「不足」(「少し不足」+「非常に不足」)と回答する企業は 34.3%と前回と比べ 8.4 ポイント減少した。

業種別では、「建設業」で 53.2%が「不足」と回答しており、前回調査から 15.6 ポイント改善はしたものの依然として不足感が強い。



## 【設備投資計画】

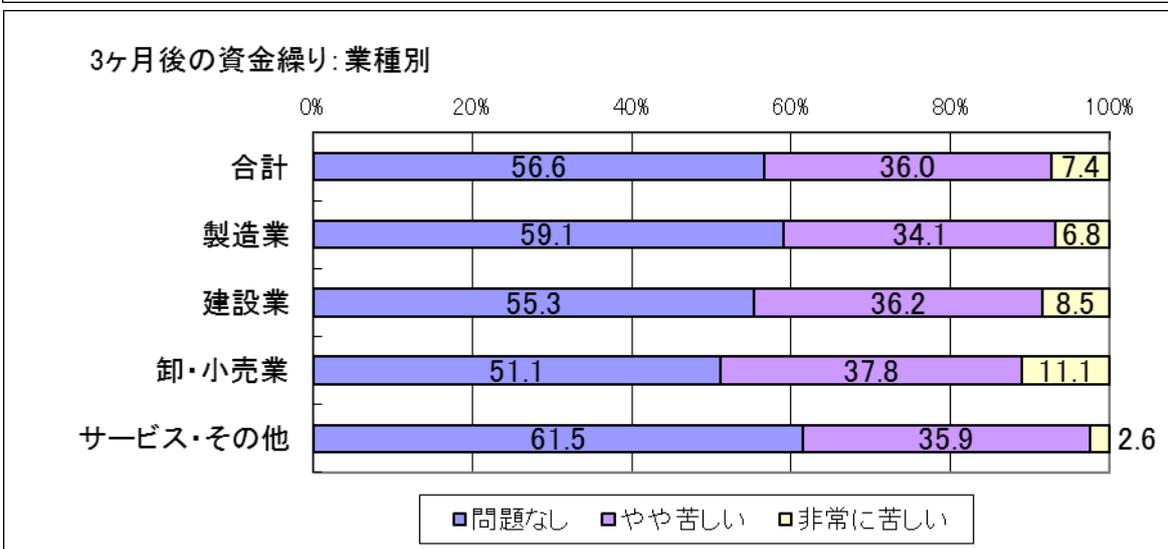
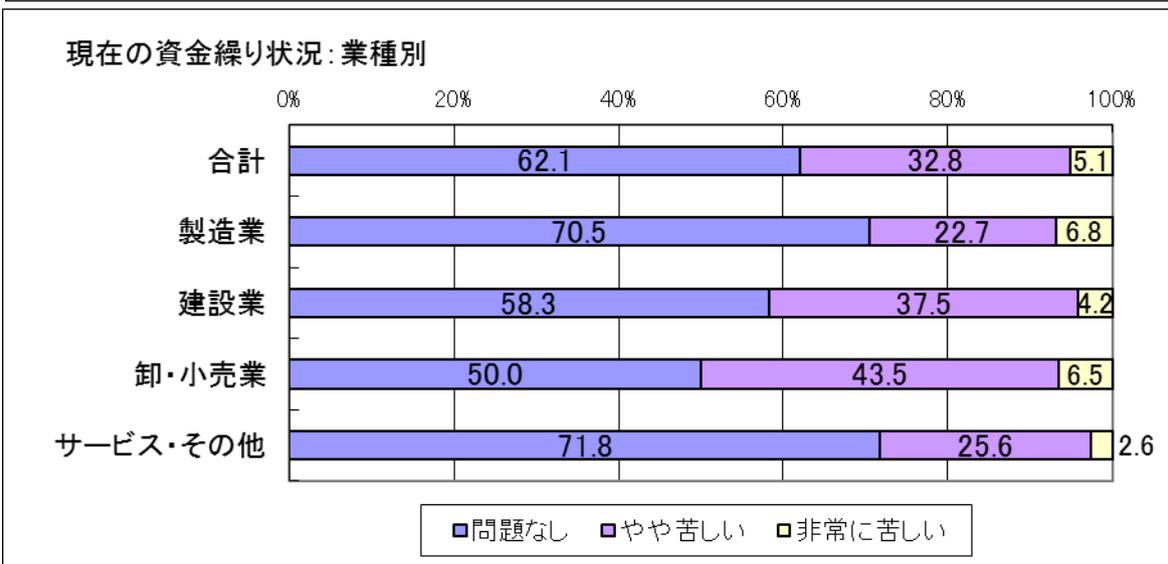
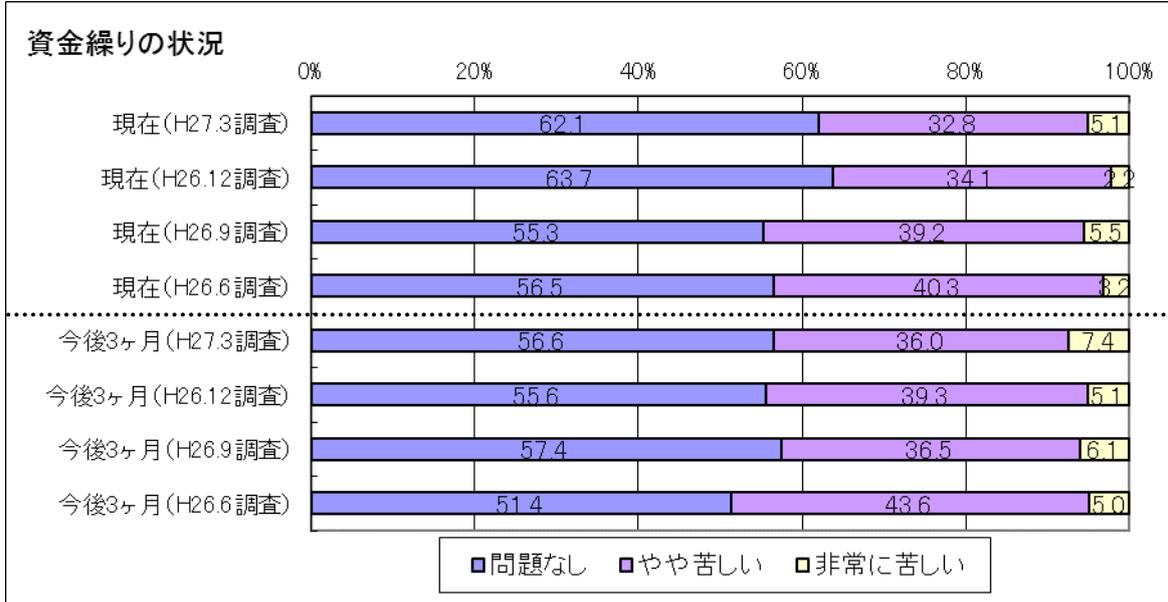
今後 3 ヶ月以内の設備投資計画が「ある」と回答した事業所は 16.0%と、前回調査から 6.2 ポイント増加した。設備投資の目的は半数が老朽化などによる「設備の更新」という結果になった。



## 【資金繰り】

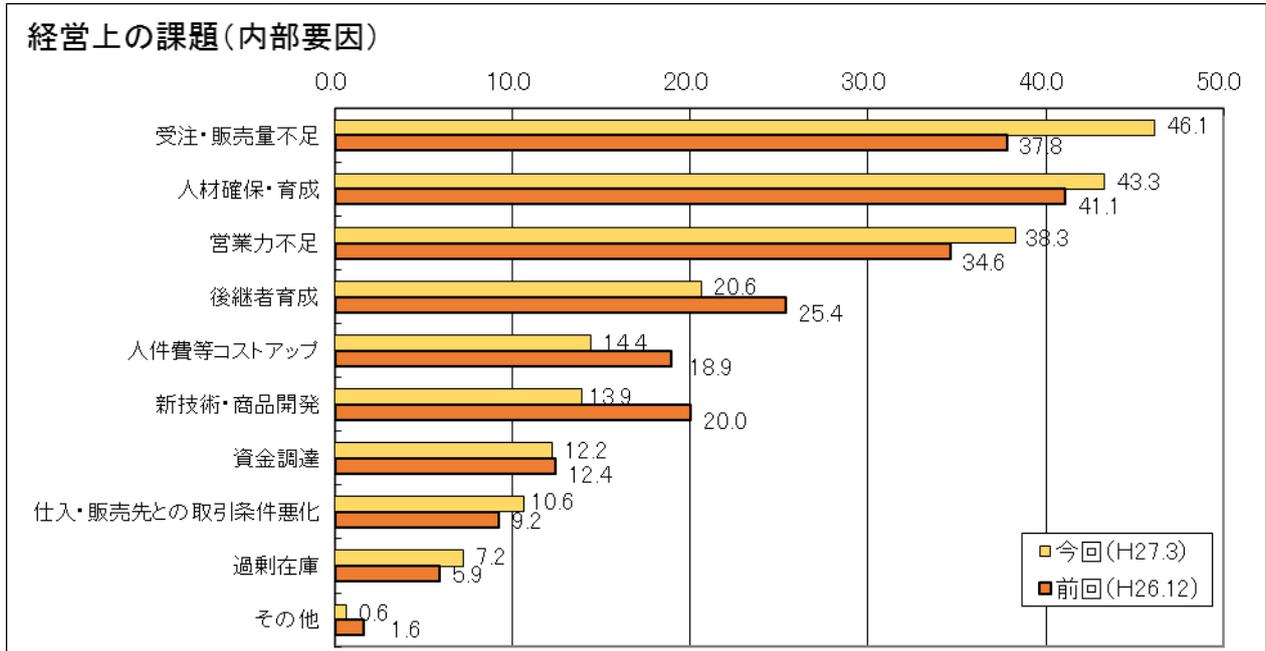
「現在」の資金繰り状況について、「苦しい」（「非常に苦しい」「やや苦しい」）が 37.9%と、前回より 1.6 ポイント増加した。

「今後（3ヶ月後）」の予想では、状より「苦しい」との回答が 43.4%と 5.5 ポイント増加しており、「採算（収支）状況」の先行き悪化見通しもあることから、資金繰り悪化への懸念が見られる。

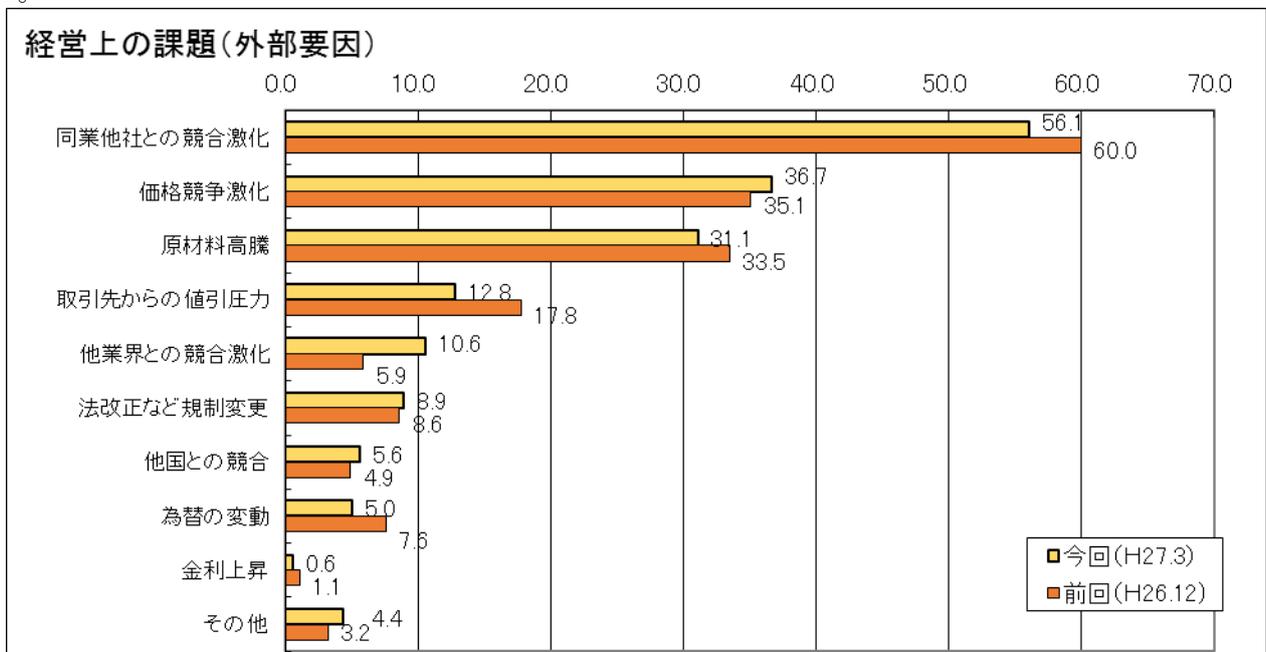


### 【経営上の課題】（複数回答）

内部要因では「受注・販売量不足」と回答している事業所が最も多く 46.1%、次いで「人材確保・育成」43.3%、「営業力不足」38.3%と続いた。前回調査と比較すると、「受注・販売量不足」が 8.3 ポイントと大きく増加した。



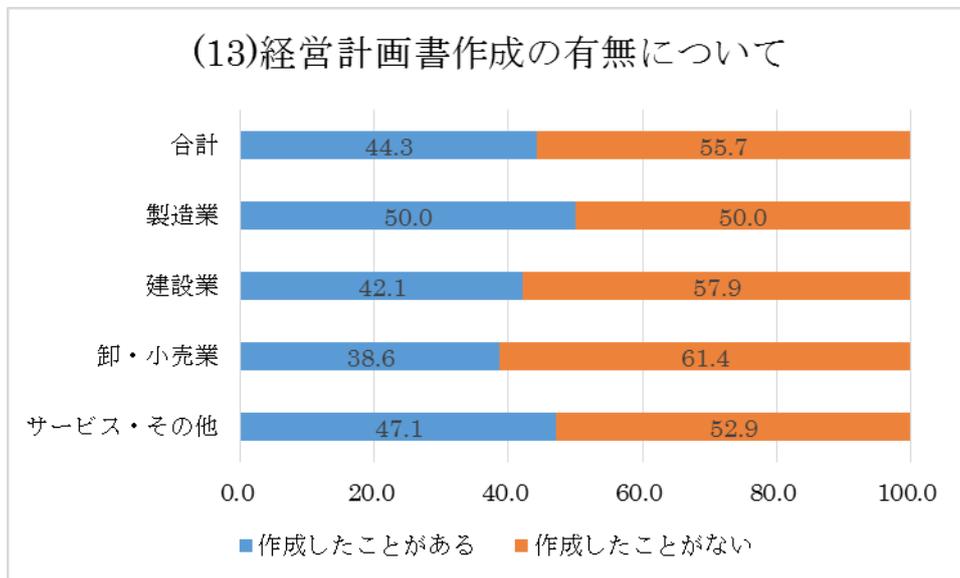
外部要因としては「同業他社との競合激化」が最も多く 56.1%、次いで「価格競争激化」36.7%、「原材料高騰」31.1%と続いた。前回調査との比較では、「他業界との競合激化」の増加が目立った。



## 【経営計画書の作成について】

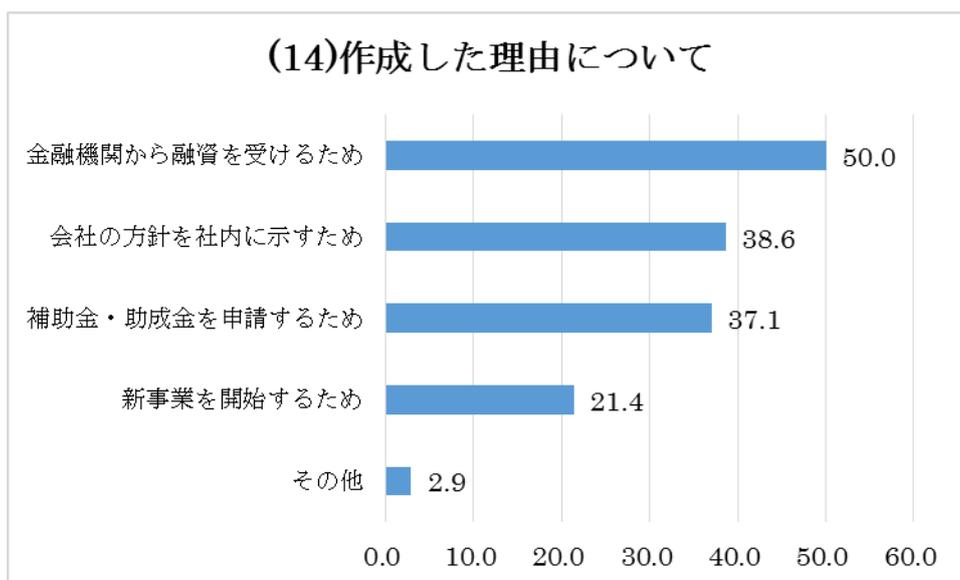
### (14) これまでの経営計画書作成の有無について

経営計画書について「作成したことがない」と回答した事業所の方が多く 55.7%、「作成したことがある」事業所は 44.3%という結果になった。業種別で見ても、大きな特徴は見られないが、「製造業」、「サービス・その他」で「作成したことがある」との回答が全体より高く、それぞれ 50.0%、47.1%となっている。



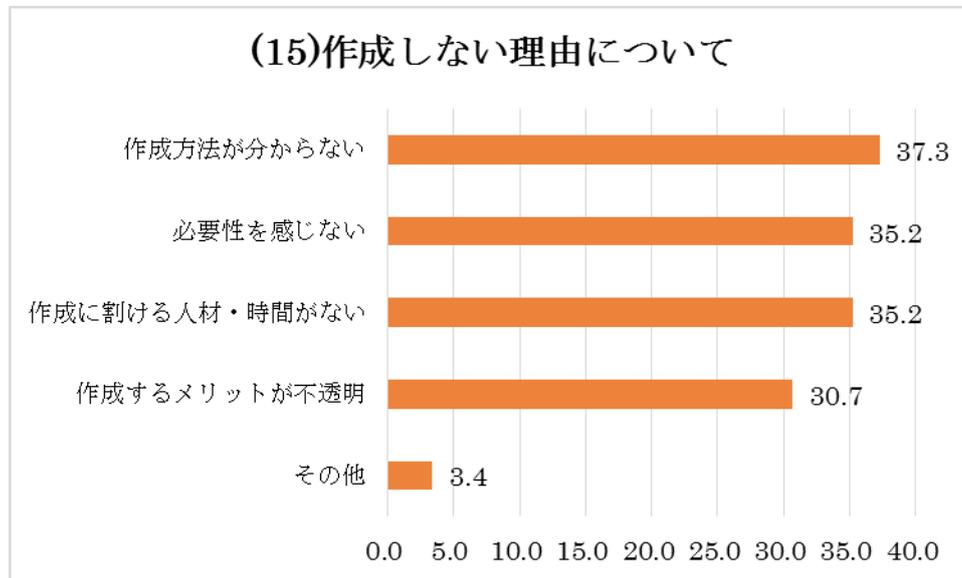
### (14)作成した理由について(複数回答)

(13)において「作成したことがある」と答えた事業所に対し理由を伺ったところ、「金融機関から融資を受けるため」が 50.0%と最も多く、資金調達のために必要に迫られて作成する場合が多いと思われる。一方で、「会社の方針を社内に示すため」38.6%、「補助金・助成金を申請するため」37.1%と続いており、自発的に経営計画書を作成する事業所も多く見られた。



### (15)作成しない理由について(複数回答)

(13)において「作成したことがない」と答えた事業所に対し理由を伺ったところ、「作成方法が分からない」が最も多く 37.3%、次いで「必要性を感じない」と「作成に割ける人材・時間がない」が同率で 35.2%という結果になった。「作成方法が分からない」や「作成に割ける人材・時間がない」と回答した事業所は、作成の必要性を感じてはいるものの、ノウハウや余裕が無いためと考えられ、商工会議所、専門家等の支援機関や金融機関が継続的にサポートしていく体制づくりが求められている。



# 福井商工会議所 景気見通し調査 各種指標推移

